

令和7年5月定例記者会見

令和7年5月1日（木）午後2時～

<主な発表項目>

○「2025となみチューリップフェア」について

「2025となみチューリップフェア」が4月22日（火）に開幕した。

今年は降雪量が多く、気温が低い日が続いたことから、開花率約4割で開幕し、4月28日に満開を迎えた。開会式には、県内外から多くの方々にご臨席を賜り、爽やかな晴天の下、色鮮やかなチューリップを楽しんでいただくことができた。会場内のチューリップは開花状態が良く、今も見頃が続いている。

団体の来場が好調であり、外国からの予約は台湾旅行社からの団体が多く、チューリップフェア開幕前の四季彩館への来館にも繋がっていることから、昨年、早い時期からセールスを行った成果が現れたものと考えている。

入場者アンケートでは、印象に残ったディスプレイとして「花の大谷」、「大花壇の地上絵」に次いで「彩りガーデン」が挙がっており、普段見ることのできない数多くの品種を見られて満足したとの感想もいただいている。

例年大人気の、高さ4メートル、長さ30メートルの「花の大谷」では、中に進むにつれて、雪の白から春の色とりどりに変化していくグラデーションに多くの来場者が感嘆の声を上げ、写真スポットとして大好評である。

また、チューリップファーム号は、4月22日から26日までの5日間運行し、どの便もほとんど満席であり好評であった。現地で案内等の受入れをしていただきご協力いただいた生産者・地元関係者に感謝申し上げたい。

美術館の「大村雪乃展～シールアートの世界～」では、大村氏の近作・新作のほか、となみチューリップフェアを題材にした作品や入館者が一緒に作り上げる大型ワークショップ作品も展示している。

今年は、会場内のWi-Fiアクセスポイントの増設や大手通信キャリアの基地局の新設により、通信環境を大幅に強化したので、快適な通信環境の下でフェアをお楽しみいただいている。

紙資源の節減のため、初めてデジタルガイドブック（日本語版、英語・中国語版）を導入した。デジタルガイドブックをフェア公式ホームページに掲載したことから、フェアのPR効果にも大いに役立っているところである。初導入のデジタルチューリップクイズも好評で、待ち時間や隙間時間に活用いただいている。

フェア開幕後も気温が低い日が続いていることに加え、大花壇においては混植を本格的に実施したことから会場全体で花の見頃が続いている。加えて、開花状態の良い花を残しながら、花の入れ替えや補充を行うことから、最終日まで美しいチューリップを見ていただけるものと考えている。

5月3日と最終日5日は晴天の予報であることから、目標の入場者数30万人も超えるのではないかと期待している。